琉球大学熱帯生物圏研究センター
Tropical Biosphere Research Center University of the Ryukyus

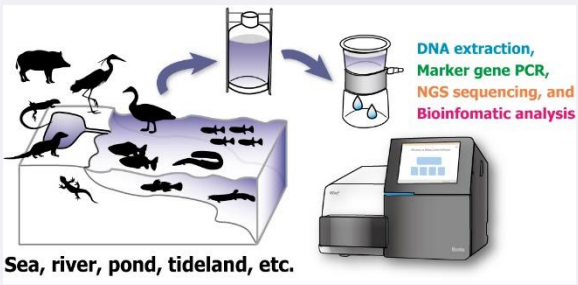
令和元年度 第1回 TBRCセミナー

亜熱帯棟におけるメタバーコーディング解析支援と人獣共通感染症レプトスピラへの応用例

佐藤行人（琉球大学戦略的研究プロジェクトセンター・特命講師）

日時：2019年6月19日（水曜日）16：30～17：30
場所：熱帯生物圏研究センター　分子生命科学研究施設　講義室

戦略的研究プロジェクトセンターは学内の研究活動のさらなる活性化を支援するために2014年に設置され、亜熱帯島嶼科学拠点研究棟（亜熱帯棟）を中心に活動する。演者は、2016年に専任教員として着任し、主に遺伝解析・ゲノミクス関係の研究系立ち上げと基盤整備を進めてきた。その中でも、細菌の16S rRNA 遺伝子や魚類のミトコンドリア 12S rRNA 遺伝子などを河川水などから PCR 増幅し次世代シークエンサーで大量配列解析する、いわゆる「環境メタバーコーディング解析」を活用した研究について、一定の成果が出てきたので紹介させて頂きたい。



具体例として紹介する研究は、学内プロジェクト「時空間ゲノミクス」の一環として医学研究科・細菌学講座との共同研究として行われた。沖縄県内でしばしば発生する人獣共通感染症レプトスピラの病原細菌を、上述のメタバーコーディング解析により県内の河川水から直接検出し、さらに、同時に検出される動物類も解析することで、自然界でレプトスピラの宿主となっている動物（イノシシ、オオコウモリなど）を推定できることを示した。この手法は、他の様々な地域にも適用し、レプトスピラ症の予防に役立つ可能性がある。

本セミナーではさらに、当センターでの研究支援や機器利用支援の体制などについても簡単に紹介させて頂きたい。

多くの学生、教職員の参加を希望いたします。

お問い合わせ：熱帯生物圏研究センター分子感染防御学分野
梅村　正幸（umemura@comb.u-ryukyu.ac.jp, 内線8971）